

NPOパワーアップ補助金事業成果報告会 資料

	団体名	特定非営利活動法人 いちかわ市民文化ネットワーク
	代表者名	吉原 廣
	所在地	千葉県市川市東菅野 5-8-21-201
1	事業名	ドキュメンタリーDVD「ハクナマタタ！」全国上映運動
2	事業費	958,055 円(このうち県の支出500,000円)
3	事業期間	平成20年8月30日～平成21年2月28日
4	事業の目的	上映運動の展開により、各地の障害者文化活動を励ます。
5	事業概要	1、第1回チャレンジド・ミュージカル「ハクナマタタ」公演の活動記録映像をDVD映画として完成する。 2、DVD映画の貸出システムを確立して、全国上映運動を展開し、各地の地域文化活動を励ます。
6	事業経過	「誰が」「誰と」「誰(何)を対象に」「いつ」「どこで」「何をしたのか」ということを、わかりやすく簡潔に記載してください。 8月30日(土) 宣伝活動開始 10月9日(木) ドキュメンタリー映画「ハクナマタタ！」完成 記者試写会 会場:銀座プロッサム 全国発信活動開始 11月3日(月) 帝京平成大学・大学祭にて上映 12月19日(金) 市川市勤労福祉センターにて開催 2009年3月～ DVD貸出制度を販売に切り替えて、後期活動の開始
7	事業成果	具体的な成果 具体的にどのような成果が出たのか、当初の目標に照らしてどの程度達成できたのかを記載してください。 目標の1、ドキュメンタリー映画「ハクナマタタ！～チャレンジド・ミュージカルの熱い5ヶ月～」は、上映時間95分という形で完成した。 作品は、出演した障害児やその親の澁刺とした表情と、サポーターとして関わった青年たちの成長振り、並びに指導陣の模索する姿を見事に捉えて、評価は高い。 目標の2、上映会開催目標は、目標数を大きく下回ったことが残念である。

<p>8 直面した課題と今後の展開</p>	<p>直面した課題 この事業の過程で直面した課題・問題を記載してください。 上映会開催目標を達成できなかった理由を以下に分析する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、「DVD貸出制度」が時代の趨勢に合わなくなったことである。 上映会を開催したいと思っても、DVDの貸出を申し込み、観客を動員して赤字とならないよう工夫し、返却するという手間を嫌う傾向が強いようである。 2、「貸出制度」よりも「頒布制度」を望む声大きいことがわかった。 従来のフィルムと違い、DVDならどこでも簡単に上映できる。そうであるなら、まずはDVDを購入し、小さなサークルや民家での集まりにも対応でき、開催日を拘束されない形での上映会を開催したいという声大きいことがわかった。 頒布制度への変更という戦術転換によって、全国上映運動という基本戦略を遂行することは可能と考える。 <p>平成21年度以降の事業展開 この事業は20年度の県の補助事業としては完了しますが、どのように事業活動を展開していくのかを記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、DVDを廉価販売する。 それによって、有料の上映会を主催する団体が小額ながらも活動資金を確保することができるというメリットが生まれる。 2、購入を希望する声は大きいので、購入を呼びかけるとともに、手軽な上映会を組織して、「自分たちの地域でも活動を起こせないか？」と議論を巻き起こしてもらおう。 3、今後のチャレンジド・ミュージカル公演の会場にて販売することで、上演運動と上映運動とを連動させることができる。 4、3月13日を始めとして、現在決定・内定している40箇所の上映会を確保しつつ、長期的な活動を維持することで、上映会開催目標数を達成したい。
<p>9 補助金事業の感想等</p>	<p>NPO活動費補助金を行った感想や、応募についてのアドバイスなどがあれば記載してください。</p> <p>事前リサーチが十分でなかったことを反省して、戦術転換を図ることにする。しかし、補助金のおかげでDVDは完成した。今後は自己努力で、運動の継続を図りたい。</p>